



第35回「あげい祭」

懐かしい！」の声

「昭和の上井」特別展示の写真に、

準備の様子

準備段階の夏～秋は、まだ全国的に新型コロナ感染拡大は続いていました。そのため、展示部門のみの開催（10月30日～11月5日）になりました。特に大好評だったのは、特別展

示でした。各町内毎の“昭和”の町や生活風景の写真を見て「ああ、こんな所があった」とか「よくこんな写真残っていたなあ」と、懐かしむ声がいっぱいでした。（と）

「昭和の上井」を見る人



「一番印象に残った作品は？」というアンケートに多かった作品紹介
色紙：横木二郎さん（本町）
※写真右：多くの出品の中から1枚
タペストリー：小林由子さん（清谷）
※写真左



（11月1日）来場者に取材

□ 3人連れのYさん（旭南）

「『昭和の上井』の写真、とても懐かく青春時代を温かく思い出されました。それにしても、良く集まりましたね！」

□「私は、毎年グループで出品しています」という方

「一番気に入った作品をと、用紙を渡されましたが、多くの時

間や努力を費やして出来た作品があるのに“時世とか流行で”ということで評価されるのはどうでしょうか？ 見てもらうことで刺激を貰いコミュニケーションを深める方が大事だと思いますが…」

□手押し車で来場の方（福庭）

「毎年楽しみにしています。コロナ禍でも続けていることが良

いですね」（杉本・三木）

□ アンケートからの感想

- ・「作品を1つ選ぶのが難しかった位、力作揃いでした」
- ・「期間が長かったので、個々の工夫とアイデア、再生利用の作品など楽しませて貰いました」
- ・「趣味・特技を持たれている方の作品が見れて感動しまし

た。我が子の小学校の作品も見れて良かったです」

- ・「コロナ禍の中で、お家で集中されたのか、力作が多かったです」
- ・「来年こそ盛大な祭りになりますように」

※いただいたご意見は来年の企画に反映していきます。
（実行委員会）

11月のニュース

ラージボー 海田西町河北町が ル卓球大会 団体優勝

11月21日（日）、上井地区自治公協主催の大会が開催されました。今年度もダブルスを実施せず縮小し行われました。

【団体】

- ① 海田西町河北町
- ② 柳町 ③ 福庭・本町

【男子1部】

- ① 岡崎（海田西町河北町）
- ② 足立（福庭）
- ③ 土井（福庭）・河口（福庭）

【女子1部】

- ① 入江里（海田西町河北町）
- ② 岡野（柳町）
- ③ 佐伯・入江優（海田西町河北町）

【男子2部】

- ① 伊藤（柳町）
- ② 沖（本町）
- ③ 松本・杉谷（本町）

【女子2部】

- ① 田中（海田西町河北町）
- ② 松本（本町）
- ③ 山田辰・政門（本町）

福庭が団体で、川本さんが個人で優勝

10月15日（金）、上井地区振主催で大会が旭国際ゴルフ場で開かれ、26名が参加しました。秋晴れの下で、ゴルフで親睦を深めました。※データ提供：当番幹事 福井千尋（柳町）

【団体の部】

- 優勝＝福庭
- ②一丁目東西 ③海田東西

【個人の部】

- 優勝＝川本啓一（福庭）
- ②好川毅（海田町） ③井手添正（福庭）
- BG 井手添正（福庭）



プレーヤー集合（旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部で）

上井地区ゴルフ大会

「昭和の上井」編集進む

11月12日（金）13:30から、第4回編集会議が開かれました。

各自治公は、今回までに提示されたページの写真やコメントに修正がないかどうかの再確認作業に入り次回の編集委員会で完成を目指します。

写真集の名称は「昭和の上井記録写真集継（つなぐ）」と決まり、その揮毫は「書道教室」の方に依頼とのこと。

写真提供者の一覧についても表示確認をされました。

特集（倉吉駅周辺・河北小中・倉産高・短大など。生活風景）については、写真不足も懸念され、次回までになお少し煮詰める方向へととなりました。

次回には「発刊にあたって」・「あとがき」が加えられ、ほぼ編集完了の運びです。次回編集委員会は、12月8日（水）（三木）

県立美術館「我が町に出来るというイメージを！」

（11/9於上井コミセン：25名出席）2025年春に誕生する、県立美術館について、現在段階の説明がされました。建設工事は、年明けの1～2月に着工の運びとのこと。

鳥取県立美術館は、全国で最後建設される県立美術館。人を「つくる」・まちを「つく

る」。県民が「つくる」。「作る」というキーワードで、アートの未来を紡ぐのが目的とも。特に強調されたのは、

- ①従来の美術館の役割に加え、「アートラーニングセンター」を目指している。
- ②家庭で・学校・職場でもない、“第三の居場所”機能をも取り入れた美術館作り。
- ③県内の他の美術系文化施設とのネットワークの拠点になる機能を持つ美術館。

「この、新しい美術館が、3年先には自分たちの町に出来る。その時の地域の風景や生活のイメージを描いて下さい。そして、もっと関心を深めて欲しい」と梅田さんは強調されました。（杉）



現在段階を説明。美術館整備局の梅田さん

「板画で年賀状を作ろう会」

新年が楽しみ

11月7日、21日（日）、毎年恒例の「教室板画で年賀状づくり」教室が開催されました。小学生を含む参加者13名は「板画教室」の方の指導を受け下絵を描き、裏返して板に写して彫刻刀で彫りました。2回目の教室では、早い人



彫刻刀で彫る

あげい

コミュニティセンターだより

NO199

（06年10月からの通算）

編集：「上井コミュニティセンターだより」編集委員会

令和3年12月1日発行

〒682-0042

倉吉市大平町360-1

TEL26-1736 FAX26-3621

（メール）koagei@ncn-k.net

（HP）http://www.ncn-k.net/koagei/

上井コミュニティセンターのQRコード



【山陰地区振興局】
山陰地区振興局 倉吉支所
〒682-0042 倉吉市大平町360-1

Iwatani
イワタニ山陰株式会社
倉吉営業所

倉吉市本町212番地1
TEL 0858-26-6303
FAX 0858-27-0024
URL http://www.iwatani-sanin.co.jp



は刷って完成させていました。小学生は、「トラを描くのが難しかった」「どこを彫るか教えてもらえて良かった」「彫るのが楽しい」という感想がありました。12月5日にも開催されます。出来上がりが楽しみです。

12月の行事予定

12/4(土)・5日(日)	倉吉市コミュニティセンター活動展(未来中心アトリウム)	
5日(日)	板画で年賀状を作ろう(3回目)	10:00
8日(火)	「昭和の上井記録写真集」編集委員会	10:00
10日(金)	上井地区民生児童委員協議会	9:30
	倉吉市公民館研究大会(交流プラザ)	13:30
14日(火)	上井地区振興協議会運営委員会	13:30
	上井地区自治公民館長会	14:30
22日(水)	クリスマスコンサート	10:00
	河北小学校 終業式	
24日(金)	河北中学校 終業式	

今月の「ふれあい給食」サービス 9・23日

【教室・講座】			
3B体操	(月曜)	6・13・20日	10:15
	(月曜)	6・13・20・27日	18:30
書道教室	(水曜)	1・15日	10:00
	(水曜)	1・15日	13:30
水墨画教室	(水曜)	8・22日	13:30
板画教室	(日曜)	5日	9:30
子ども硬筆・毛筆教室	(土曜)	4・11・18・25日	13:30
リラックスヨガ	(金曜)	3・17日	10:00
【同好会】			
女性のつどい	(火曜)	7・21日	9:30
民謡同好会	(月曜)	13・20日	19:00
太極拳同好会	(月曜)	6・13・20・27日	20:00
	(金曜)	3・10・17・24日	10:00
【その他】			
なごもう会		7・21日	13:00

※職員不在のお知らせ 12月10日(金)午後 倉吉市研究大会のため
12月29日(水)～1月3日(月) 年末年始

【令和3年度倉吉市民体育大会結果(ソフトボール)】

10月10日(日)、倉吉総産高グラウンドで実施され、上井地区代表の福庭チームは、決勝で惜しくも敗れ準優勝でした。

私の作品

小椋安子さん(河北町)
100均のレース糸を使い自分流の編み方で、次々とボトルカバーを編まれる手先の器用な小椋さんに取材しました。(三・楠)

問 きっかけは?
答 写真は一部ですが、コロナ禍で家にこもっていた間に編み始めたのがきっかけです。1日3枚くらい出来ます。カバンに材料を入れていて、病院の待ち時間などを利用して編んでいました。仕上がると「欲しい」と言われる知人に差し上げたりしています。
問 編み物はいつ頃から始められた

持ち手が付いて、下げられるのが便利です。

問 ですか?
答 若い頃に機械編みを習い失敗しては解きを何度も繰り返すうちに編む構成が理解出来るようになり、コツも分かってきて自己流で手編みが出来ようになりました。
問 肩がこりませんか?
答 昔から、私は作業には凝っても肩は凝らないんです(笑)



レース糸で編んだペットボトルカバー

200号を迎えて

編集委員会から
立ちあげのきっかけは、今から16年前の秋。「単なるお知らせだよりではなく、読んで楽しく、異論や反論も載る紙面に!」と、故足立猛館長さんからの話からでした。私たちはボランティアで、半ば独立組織の委員会です。ここに200号という節目を迎えました。(戸田)

編集
後記

今年も、喪中はがきが届きました。以前は、業者をお願いしていました。今やパソコンの普及と共に自分でデザインし、ハガキ印刷まで出来るようになり、お互いに知る近況報告を兼ねた賀状が楽しみでした。でも近年、携帯に動くシンプルなメッセージ賀状が届くようになり返信に戸惑っています。(三木)

あけい

次号で200号

倉吉市で唯一の、「委員会」体制で。

今年4月号からの題字

編集委員会メンバー

- スタッフであった方
永見 裕子(海田西町)
中原 一喜(海田西町)
大嶋 皎子(海田南)
小川 章代(旭北)
森 伸子(1丁目東)
- 現スタッフ
戸田 通昭(福庭)
三木 智子(河北町)
杉本 照代(海田西町)
楠本 結花(柳町)
佐々木文代(1丁目東)
上井コミュニティセンター
主事: 福井稔章
福本朋美
竺長伸司

上井公民館だより

「上井コミュニティセンターだより」(公民館だより)の編集に携わった者として、読みに親しんでいただけたことに感謝!です。
以前は、公民館主事さんのみで多忙な日常業務を行っていたが、編集されておられました。新たに立ち上げられた編集委員会(仮称)の私たちは、戸田編集長のもと、「親しんで読んでいただく」ことをモットーに取り組みしました。
当初は、B4の大きさの用紙でモノクロ印刷でしたが、やがて今のサイズのA3の紙面に。そして、カラー印刷へとより読みやすく、徐々に代えていきました。
「上井こんな所あんな所」を担当した時は、原稿を書くため、上井中のあちこちを歩

創刊から、「だより」に関わって、

中原 一喜(海田西町)

おかげさまで街で会う人から「面白かった」。「あんたの記事だらー」などと、反応をいただき、大変励みになりました。後期高齢者となったのを期に引退しましたが、若い人たちが頑張っていて引き継いで下さって応援してくれています。
(※本「だより」は、自前でカラー印刷し、発行出来るのは中原さんが確立されたシステムのお陰です。鮮明な紙面。感謝!です。編集委員会)

NO100~191 「子ども硬筆・毛筆教室」講師 山田美鈴さん揮毫



ドア開けて、「どこへいこうかなあ〜」。

芝生の緑によく映えるピンクのドアが登場しました。あの、ドラえもん「どこでもドア」です。

訪れた人がチョット開け、くぐってみたいくなる、「上井の名物」になるかもしれませんね。(写真=左)

これは、10月24(土)に開かれた「木工教室」(講師:伊藤文男さん=福庭)で、木工教室に参加者の協力で制作されたものです。

「ねえねえ、みんな!『どこでもドア』でどこ行きたい?」と聞いてみたら…、「宇宙」・「自由の世界」とか、空を羽

上井こんなところ あんな所 (140)

コミュニセンターの芝広場に「どこでもドア」登場!

ばたくイメージの答えが元気よく飛び出して来ました。

「任天堂のマリオの世界!」・「ドラえもんの世界!」・「TVの世界!」なども。「へえ〜そうなんだ!」とインタビューした私でした。

「東京・大阪・ディズニーランド・USJ」と具体的な場所、「遊園地・お城・外国・イオン・公園」と抽象的な場所もありました。

コロナ禍で、旅行にも買い物にも行けなくて、思いがいつぱいたまっているようでした。(佐々木)

倉吉市健康推進課から 「ノロウイルスに気をつけましょう」

ノロウイルスは、ごく少量を摂取しただけで深刻な食中毒を起こすという感染力が非常に強いものです。

11月~2月に多いですが、年中を通して発生します。主な症状→急性の胃腸炎(嘔吐、下痢)・37~38℃の発熱。

手洗いの励行が大事です。トイレの便座・ふた・床・ドアのノブなどを清潔にしましょう。



- ~予防のポイント~
①洗い流す。②加熱して死滅させる。
③薬剤で死滅させる→次亜塩素酸ナトリウム。※アルコールは効きません。
○汚物などの処理(嘔吐物や便が付いた廃棄物)→消毒してから捨てましょう。

上井公民館だより

NO1(2006年10月発行)からNO99までの題字